

## 資料一 2

### 審査資料の作成状況

- 本紙は、耐震設計方針（4条）に係る説明単位、耐津波設計方針（5条）に係るまとめ資料の提出予定時期と先行してご説明したい項目について整理したものである。
- 整理結果の概要は、以下の通り。
  1. 耐震設計方針（4条）
    - (1) 説明単位は3段階を想定
      - ①：2022年 5月から説明可能：  
別紙-8 液状化影響の検討方針について、別紙-9 地下水位設定方針について  
屋外重要土木構造物等の条件設定の考え方であることから、先行して説明したい。  
また、液状化影響方針と地下水位設定方針は関連するため、シリーズで説明することが合理的。
      - ②：2022年 9月中旬から説明可能  
耐震設計方針、別添類（別添-4 波及影響は除く）、別紙-5 燃料被覆管、別紙-6 土木構造物解析モデル  
土木構造物の断面算定、解析手法、解析モデルの精緻化について説明可能となる時期に合わせて耐震設計方針を説明することが合理的。
      - ③：2023年 2月から説明可能  
別添-4 波及影響、別紙類（別紙）  
評価に時間を要するため、耐震設計方針と切り離し評価結果がそろった時点で説明することが合理的。
    2. 耐津波設計方針（5条）
      - (1) まとめ資料提出予定時期は2段階を想定
        - 2023年3月（防潮堤の構造成立性に係る資料）
        - 2023年8月（上記以外：基準津波の数により後倒しになる可能性有り）
      - (2) 以下の項目については、説明資料を準備のうえで先行して2022年10月からご説明したい。
        - ・漂流物の取水性への影響確認のうち、漂流物の調査要領及び漂流物となる可能性のある施設・設備の抽出結果について
        - ・防波堤が損傷した場合の影響評価方針について

【4条 耐震設計】

項目	まとめ資料 女川2号炉 反映状況※	検討状況	説明可能時期※ <sup>3</sup>	説明単位	説明単位の考え方
耐震設計方針	反映中	別添、別紙の説明内容を踏まえて、記載内容を再確認中	2022年9月中旬	②	
別添－1 設計用地震力	完成	方針変更なし	2022年9月中旬	②	耐震設計方針と同時に説明することが合理的
別添－2 動的機能維持の評価	完成	方針変更なし	2022年9月中旬	②	耐震設計方針と同時に説明することが合理的
別添－3 弾性設計用地震動・静的地震力による評価	完成	方針変更なし	2022年9月中旬	②	耐震設計方針と同時に説明することが合理的
別添－4 上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討について	完成	方針変更なし	2023年2月 基準地震動確定後8か月	③	「別紙－2 上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討」の評価結果を記載する必要があるため、別紙2と同時期に説明する必要がある
別添－5 水平2方向及び鉛直方向の地震力の組合せに関する影響評価方針	完成	方針変更なし	2022年9月中旬	②	耐震設計方針と同時に説明することが合理的
別添－6 屋外重要土木構造物等の耐震評価における断面選定の考え方	反映中	基準地震動確定後、解析モデル等の変更の要否を含めて確認実施	2022年9月中旬 基準地震動確定後3か月	②	耐震設計方針と同時に説明することが合理的
別添－7 主要建屋の図面集	完成	方針変更なし	2022年9月中旬	②	耐震設計方針と同時に説明することが合理的

項目	まとめ資料 女川2号炉 反映状況※	検討状況	説明可能時期※ <sup>3</sup>	説明単位	説明単位の考え方
別紙－1 既工認との手法の相違点の整理（設置許可変更申請段階での整理）※ <sup>1</sup>	反映中	基準地震動確定後，解析モデル等の変更要否の確認実施	2023年2月 基準地震動確定後8か月	③	解析手法等について既工認や他プラント再稼働審査との差異を網羅的に抽出し，論点を取りまとめた資料であり，耐震設計方針とは別に説明することが合理的
別紙－2 上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討※ <sup>2</sup>	反映中	基準地震動確定後，波及的影響の再確認実施	2023年2月 基準地震動確定後8か月	③	防潮堤等の耐震重要施設の配置が確定した後に，敷地全体を再度確認した結果を示す資料であり，耐震設計方針とは別に説明することが合理的
別紙－3 水平2方向及び鉛直方向の適切な組合せに関する検討について	新規作成中	基準地震動確定後，解析モデル等の変更の要否を含めて確認実施	2023年2月 基準地震動確定後8か月	③	対象設備，評価部位等について「別添－5 水平2方向及び鉛直方向の地震力の組合せに関する影響評価方針」の方針に基づき確認した結果を示す資料であり，耐震設計方針とは別に説明することが合理的
別紙－4 規格適用範囲外の動的機能維持の評価	新規作成中	基準地震動確定後，対象施設が確定	2023年2月 基準地震動確定後8か月	③	新たな検討又は詳細検討が必要な設備を抽出し，個別の設備について評価項目等の方針を示す資料であり，耐震設計方針とは別に説明することが合理的
別紙－5 地震時における燃料被覆管の閉じ込め機能の維持について	新規作成中	評価方針は作成済，基準地震動確定後，解析を実施	2022年9月中旬（評価方針） 評価結果は2023年2月 基準地震動確定後8か月	②，③	評価方針については2022年9月中旬に提出したうえで耐震設計方針と同時期に説明することが合理的 基準地震動による評価結果については2023年2月に説明可能

項目	まとめ資料 女川2号炉 反映状況※	検討状況	説明可能時期※ <sup>3</sup>	説明単位	説明単位の考え方
別紙－6 土木建造物の解析手法及び解析モデルの精緻化について	新規作成中	基準地震動確定後、解析モデル等の変更の要否を含めて確認実施	2022年9月中旬 基準地震動確定後3か月	②	「別添－6 屋外重要土木建造物等の耐震評価における断面選定の考え方」と関連するため、別添6と同時期に説明するのが合理的
別紙－7 後施工せん断補強筋による耐震補強について	新規作成中	先行プラントである女川2号炉と同様のCCbによる耐震補強を検討中 なお、基準地震動確定後、解析モデル等の変更の要否を含めて確認実施	2023年2月 基準地震動確定後8か月	③	あと施工せん断補強に関する資料であり、耐震設計方針とは別に説明することが合理的
別紙－8 液状化影響の検討方針について	新規作成中	液状化強度試験位置の代表性、網羅性について先行審査を踏まえて精査中 なお、基準地震動確定後に液状化試験の妥当性確認を実施	2022年7月 妥当性確認結果は、8月 基準地震動確定後1.5か月	①	屋外重要土木建造物等の条件設定の考え方であるため、先行して説明したい 地下水位設定方針と同時期に説明することが合理的
別紙－9 地下水位設定方針について	新規作成中	浸透流解析は実施済み 主要建屋及び屋外重要土木建造物の地下水位設定方針について先行プラント審査を踏まえて資料精査中	2022年5月	①	屋外重要土木建造物等の条件設定の考え方であるため、先行して説明したい 液状化影響と同時期に説明することが合理的

※：女川2号炉だけでなく、最新審査実績プラントである島根2号炉の論点も適切に反映

※：まとめ資料一式は、2017年3月提出

※1：既工認との手法の相違点の整理については、2016年7月15日ヒアリング資料「耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について」として提出

※2：「上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討」については、2017年2月24日ヒアリング資料「波及的影響の検討における基本的な考え方」として提出

※3：基準地震動確定を2022年6月中旬として想定したもの。  
基準地震動確定時期により提出時期が後ろ倒しになる可能性がある。

【5条 耐津波設計】

項目※ <sup>1</sup>	まとめ資料 女川2号炉 反映状況	資料作成状況	資料提出予定 時期※ <sup>4</sup>
耐津波設計方針	反映中	耐津波設計に必要な解析実施後、 添付資料の内容も踏まえて完成予定	2023年8月 (防潮堤構造成 立性に係る部分 は2023年3月)
添付資料1 基準津波に対 して機能を維持すべき設備 とその配置	反映中	防潮堤構造成立性の説明 に合わせて完成予定※ <sup>2</sup>	2023年3月
添付資料2 津波シミュレ ーションに用いる数値計算 モデルについて	反映中	防潮堤構造成立性の説明 に合わせて完成予定※ <sup>2</sup>	2023年3月
添付資料3 地震時の地形 等の変化による津波遡上経 路への影響について	新規作成中	基準地震動確定後、敷地沈下量の解 析および入力津波(平面二次元解 析)の解析を実施し完成予定※ <sup>2</sup>	2023年3月
添付資料4 港湾内の局所 的な海面の励起について	反映中	基準津波確定後、 解析を実施し完成予定※ <sup>2</sup>	2023年3月
添付資料5 管路解析の詳 細について	反映中	入力津波(管路解析)実施後、 完成予定	2023年8月
添付資料6 入力津波に用 いる潮位条件について	反映中	基準津波確定後、至近の潮位の 比較検討を実施し完成予定※ <sup>2</sup>	2023年3月
添付資料7 津波防護対策 の設備の位置づけについて	反映中	耐津波設計に必要な解析実施後、 完成予定※ <sup>2</sup>	2023年8月 (防潮堤構造成 立性に係る部分 は2023年3月)
添付資料8 内郭防護にお いて考慮する溢水の浸水範 囲、浸水量について	新規作成中	浸水範囲、浸水量確定後、 完成予定	2023年8月
添付資料9 貯留量の算定 について	反映中	耐津波設計方針の説明 に合わせて完成予定	2023年3月
添付資料10 基準津波に伴 う砂移動評価について	新規作成中	入力津波(平面二次元解析)確定 後、砂移動解析を実施し完成予定	2023年8月
添付資料11 泊発電所周辺 海域における底質土砂の分 析結果について	完成	資料作成済	2023年3月

添付資料 12 海水ポンプの軸受の浮遊砂耐性について	反映中	入力津波（管路解析）実施後に、浮遊砂濃度の解析実施し完成予定	2023年8月
添付資料 13 津波漂流物の調査要領について	反映中	防潮堤の構造成立性の説明に合わせて完成予定 <sup>※2</sup>	2023年3月
添付資料 14 漂流物の評価に考慮する津波の流速・流向について	反映中	入力津波（平面二次元解析）確定後、解析を実施し完成予定 <sup>※2</sup>	2023年3月
添付資料 15 津波の流況を踏まえた防波堤の取水口到達の可能性評価について	新規作成中	基準津波確定後、解析等を実施し完成予定	2023年3月
添付資料 16 燃料等輸送船の係留索の耐力について	反映中	入力津波（平面二次元解析）確定後、解析を実施し完成予定	2023年3月
添付資料 17 燃料等輸送船の喫水と津波高さの関係について	反映中	入力津波（平面二次元解析）確定後、解析を実施し完成予定	2023年3月
添付資料 18 津波監視設備の監視に関する考え方	新規作成中	耐津波設計方針の説明に合わせて完成予定	2023年3月
添付資料 19 耐津波設計において考慮する荷重の組合せについて	反映中	耐津波設計に必要な解析実施後、完成予定 <sup>※2</sup>	2023年8月 （防潮堤構造成立性に係る部分は2023年3月）
添付資料 20 防潮堤における津波波力の設定方針について	反映中	入力津波（平面二次元解析）確定後、津波波力算定式の適用性確認に必要な解析を実施し完成予定 <sup>※2</sup>	2023年3月
添付資料 21 基準類における衝突荷重算定式について	反映中	防潮堤構造成立性の説明に合わせて完成予定 <sup>※2</sup>	2023年3月
添付資料 22 耐津波設計において考慮する余震荷重と津波荷重の組合せについて	反映中	基準津波確定後、余震の再評価を実施し完成予定 <sup>※2</sup>	2023年3月
添付資料 23 防潮堤の設計方針及び構造成立性評価結果について	新規作成中	基準地震動、地下水位、液状化影響、津波波力及び漂流物荷重等が確定後、完成予定 <sup>※2</sup>	2023年3月
添付資料 24 貯留堰の構造及び仕様について	新規作成中	耐津波設計方針の説明に合わせて完成予定	2023年3月
添付資料 25 貯留堰継手部の漏水量評価について	新規作成中	耐津波設計方針の説明に合わせて完成予定	2023年3月
添付資料 26 水密扉の運用管理について	反映中	耐津波設計方針の説明に合わせて完成予定	2023年3月

添付資料 27 貫通部等の浸水対策について	反映中	耐津波設計方針の説明に合わせて完成予定	2023年3月
添付資料 28 屋外排水路に関する設計方針について	新規作成中	耐津波設計方針の説明に合わせて完成予定	2023年3月
添付資料 29 輸送物及び輸送車両の漂流物評価について	新規作成中	耐津波設計方針の説明に合わせて完成予定	2023年3月
添付資料 30 モニタリングポストに対する津波影響評価結果	作成中 <sup>※3</sup>	耐津波設計方針の説明に合わせて完成予定	2023年3月
添付資料 31 審査ガイドとの整合性（耐津波設計方針）	反映中	耐津波設計に必要な解析実施後、完成予定	2023年8月 （防潮堤構造成立性に係る部分は2023年3月）

※1 項目は、今後の評価結果等を踏まえ追加・変更になる可能性がある。

※2 防潮堤構造成立性に係る資料

※3 泊の審査会合における指摘事項を踏まえ資料作成中

※4 基準津波確定を2022年6月と想定したもの。

2023年8月完成予定の資料は、基準津波の数により後倒しになる可能性がある。